

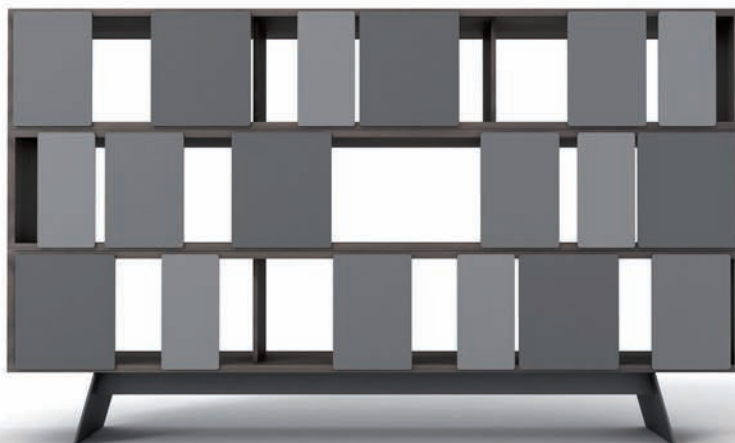
# Human Made

## London Design Festival 2010

De La Espada announces new product information and designers available for interview

22-26 September 2010

Tramshed, 32 Rivington Street, London EC2A 3LX



London Design Festival (9月22日-26日) 期間中、家具メーカー De La Espadaによる最新のプロダクトデザイン展「Human Made」が、イーストロンドンにて開催されるThe Tramshedメインホールにて行われます。グローバルに活躍するMathew Hilton、Studioilse、Autoban、Leif.designpark、VanhoffontwerpenそしてCharlene Mullenらデザイナー主導の各ブランドが新作、またはDe La Espadaとのコラボレーションを発表します。

「Human Made」展は、自然素材にける思いやディテールへの気配り、そしてエンドユーザーとの対話など、各デザイナーズブランドとDe La Espadaが共有するエトス(精神)を映し出す展示です。伝統クラフトや木工分野にて培ってきたメーカーの経験を背景にDe La Espadaのクラフトマン達は、ひとつひとつのパーツ・細部にまで責任を持ち向き合っています。Human Made=人によるものづくり、人によるデザイン、人によるクラフト、そして人々の交流の為のものづくり、人間の存在を意識したデザインの展示です。

**Matthew Hilton** 積み重ねることによって様々な機能を持つモジュラーサイドボードを発売します。サイドボードとしてのシングル使い、食器棚としてのダブル使い、そして3段重ねることによりパーテ

ーションやウォールキャビネットとしてさらに用途を広げます。また、最小限に抑えたステッチと綿密に開発されたフォームの革新的なラウンジチェア「Hide」を発表します。

**Studioilse** 2011年4月Salone Internazionale del Mobileにて発表予定の「Together Table」を先行公開。Seating for Eatingシリーズ(長椅子・ベンチ・スツール)に新たに加わるTogether Tableは、いつでも突然のゲストを迎え入れられるスペースが出来るようにエクステンションスタイルになっています。チェストナット無垢材を使用、縁及び脚は銅トリム。ラウンド型の天板両端部は、不必要時に下部へと折り隠すことが可能なテーブルです。

**Autoban** 蝶の羽からインスピレーションを受けた「Butterfly chair」を発表。アメリカンブラックウォールナット、もしくはアメリカンホワイトオーク無垢材、そして様々な生地オプションで展開されるこのButterfly chairは、Autoban初の自国トルコ以外でのインテリアプロジェクトとなった香港の話題のレストラン208 Duecento Otto restaurantにて使用されています。



**Vanhoffonterwerpen** De La Espadaとのコラボレーションにより、ラウンジチェアとキャビネットを発表します。建物の最も基本となる梁を元に開発されたこれらのプロダクトは、機能主義デザインの精密な純真さからインスピレーションを受け、そのプロポーションやアングルが慎重にデザインされています。ヨーロッパアンチレストナットの角材がシャープさを、そしてラウンジチェアのレザーシートパッドがソフトさを演出しています。

**Charlene Mullen** De La Espadaとのコラボレーションにより「Atoms and Patterns」と「Flock」2つのクッションコレクションを発表します。Atoms and Patternsでは、生物学的構造の規則的でコラティブな再現を機械刺繍によりデザインした「Toy Jax」、「Big Jax」、「Space Invaders」をはじめ、スケールの遊びを白のモチーフに印象的な黒で表現した「Connect Four」や「Big Chicken Wire」を発表します。Flockでは、ある気配やユーモアな物語を比喻するデザインが、固有の不完全さを持つハンド刺繍によってさらに強調され表現されています。シンプルなアイコンを奥行きある織り方でフューチャーした「Dove」や、アンテナの木々にとまる鳥たちをシンプルなラインで描いた「Sparrows on Aerials」など、このコレクションはウールのタペストリーに広がる刺繍の技術が見物です。クッションは全てリネンにウールで刺繍が施されており、コンテンポラリーではあるものの、どこかパーソナルな雰囲気を出しています。

**Leif.designpark** 既存ラインとほぼ同数にあたる新作7点を発表します。独特の形を持つブライウツの背もたれがシートを囲み込むダイニングチェア「Flower Cup Chair」。2009年のLondon Design Festivalにて発表され好評を得たHug lounge armchairの2Pバージョン「Hug 2-Seator Sofa」。日本の伝統的な寄せ木細工を、ウォールナット・チェリー・チェストナット無垢材のコンビネーションによってモダンに演出した「Tone Chest」。2つのガラスシェードから成り、単体また

はコンビでも使用可能なモジュラーペンダントライト「Len Lamp」。そして「Lily Table」シリーズでは、アメリカンブラックウォールナット、もしくはアメリカンホワイトオーク材を使用し、コーリアンをテーブルトップに用いたコーヒーテーブルとサイドテーブル大小2種が発表されます。

De La Espadaの各デザイナーズブランドがメインホールで展示を行うThe Tramshedは、デザインイベントのエキスパートであるDeborah SpencerとAlice Breed運営の元、De La EspadaのディレクターLuis de Oliveiraが創始したパワフルで国際的なデザインのクリエイティブコラポイベントであり、London Design Festival 2010の大事な見所となっています。このポスト-インダストリアルベニューでは、BenchmarkをはじめStudioilse, Sicn, Autoban, Another Country, Bocci, Decode, Michael Sodeau, Dezeen Watch Store, RWV, Mathew Hilton, そしてKvadratなどハイエンドなデザインブランドが展示を開催し、カフェも併設された会場では、毎日2回のトークイベントが予定されています。

創始者のLuis de Oliveiraはイベントに向け「ロンドンには、ファッションからグラフィック、広告まで様々なフィールドのデザイン性を強みに持つ、世界のクリエイティブなクロスロードのひとつであり、世界各国からの訪問者もそういった視点からこの都市を覗いていると思います。しかし、我々はロンドンには想像力に富みながらも効果的でバランスのとれたエキシビションが必要であると心から信じ続けてきました。これは数=quantityではなく、質=qualityにフォーカスした、しかし多くの来場者を引き込み、魅了するに十分な規模のイベントであり、The Tramshedは、一般の人々・プロフェッショナルな人々両者のイメージネーションを掻き立てるイベントになるような気がしています。」と話しています。